

環境に係る情報協議会 国営かんがい排水事業 新川二期地区

1. 環境に対する考え方

(「幕別町田園環境整備マスタープラン」及び
「豊頃町田園環境整備マスタープラン」から)

《農村環境の現状と課題》

【 現 状 】

- 幕別町 ・幕別町は、広大な平原が主体となっている北海道十勝らしい風景、自然が広がる町となっている。
- 豊頃町 ・豊頃町は、十勝川とその支流沿いに肥沃な耕地が広がり、丘陵部は豊かな森林地帯となっている。

【 課 題 】

- 幕別町 ・すばらしい景観や貴重な動植物を擁する優れた自然を確保し保全することは以前にもまして重要な課題となっている。
・降雨時の出水による被害が多く発生しており、樹林地の保全と排水の整備が必要である。
- 豊頃町 ・多くの小河川が点在しており、そのほとんどが未改修で大雨時に災害の危険性が大きく抜本的な改修が望まれる。

《環境保全の基本的考え方》

- 幕別町 ・十勝川とその流域の河川や湖沼の自然と景観を守り、水環境の本来持つ自浄能力を高め、自然と調和し、共生できる水辺環境に配慮し河川や農業用排水路の整備を進める。
- 豊頃町 ・田園環境を保全、配慮しながら農村部の生活環境整備や農業基盤整備を積極的に進める。

2. 環境配慮のための環境調査

《基本方針》

【調査位置の考え方】

本事業の実施による影響が想定される区域の上統内排水機場周辺において環境調査を実施する。なお、魚類調査は、上統内排水機上周辺以外においても実施する。

【調査項目の考え方】

既往調査結果を活用するとともに、事業にて整備を行う区域で調査が行われていない項目について調査を実施する。

《環境調査内容》

○調査項目 ①魚類 ②両生・は虫類 ③底生動物 ④植物 ⑤水質

○調査方法	哺 乳 類	：	目撃法、フィールドサイン法
	魚 類	：	採捕調査
	両 生 ・ は 虫 類	：	目撃法、フィールドサイン法
	底 生 動 物	：	定性採集法
	植 物	：	植物相調査
	水 質	：	SS、濁度